

(Partial Translation)

JP-U 51-48701

Title of the Invention

AN INTERLOCKING PLUG

Claim for Utility Model Registration

An interlocking plug in which flanges are provided at both of left and right sides of a plug body having a terminal hole for receiving therein a pin provided on a terminal board, which through holes are provided on said flanges, which elastic projections with hooks are provided on an inside of said cabinet so as to engage with the through holes of said flanges, which a hole is made on said cabinet so as to permit insertion of a code connected with the terminal hole of the plug body, and which the plug body can be attached from an inside of the cabinet by engagement between said through holes and the protrusions with the hooks.

⑤ Int.Cl.
H 01 R 19 / 16

⑤日本分類
60 D 124

⑬日本国特許庁

⑪实用新案出愿公告
昭51-48701

實用新案公報

厅内整理番号 7251-52

④公告 昭和51年(1976)11月24日

(全2頁)

④インターロックプラグ

⑨ 実 願 昭 4 5 一 8 2 4 6 6
 ⑩ 出 願 昭 4 5 (1 9 7 0) 8 月 2 0 日
 ⑪ 考 案 者 中 村 聖
 横 浜 市 神 奈 川 区 守 屋 町 3 の 1 2 日
 本 ヒ ク タ ー 株 式 会 社 内
 ⑫ 出 願 人 日 本 ヒ ク タ ー 株 式 会 社
 横 浜 市 神 奈 川 区 守 屋 町 3 の 1 2
 ⑬ 代 理 人 弁 理 士 荒 木 友 之 助 外 1 名

図面の簡単な説明

第1図は本考案の分解斜視図、第2図は同横断面図、第3図は同組立状態の斜視図、第4図は従来品の分解斜視図である。

考案の詳細な説明

本考案はインターロックプラグに関するものであつて、特にその取付を容易にすることを目的とするものである。

第4図は従来のインターロックプラグを示すものであり、11はプラグ本体であつて、キャビネット1の孔に挿入した後、係止具12を嵌め込むことによつて、抜け出さないようにしてある。この係止具12は弾性を有する材料で構成されており、図のようにC字形になつていて、プラグ本体11のネック部に、キャビネット1の内側に於いて弾性的に嵌合させる。このようにしてプラグ本体11をキャビネット1に取付けた後、キャビネット1内に装備するセットの端子板7に設けたピン8、8'を、プラグ本体11に設けた端子孔6、6'に挿入する。

上記のような従来のインターロックプラグは、プラグ本体をキヤビネットに取付けた後に、セットの端子に差し込まなければならず、これは手探りで行わなければならないので容易ではなかった 35

本考案はこのような欠点を解消することを目的とするものであつて、プラグ本体を先ずセットの端子に差し込んだ後に、キヤビネットに取り付けら

れるようにしたものである。

第1図は本考案によるインターロックプラグを示すものであり、4はプラグ本体であつて、その左右両側にはフランジ10、10'が設けてあり、該フランジ10、10'に孔5、5'が設けてある。2はキャビネット1に設けたプラグ取付孔であつて、その左右両側にはキャビネット1の内方に向つて突出する突起3、3'が設けてある。突起3、3'には、これらが上記プラグ本体4のフランジ10、10'に設けた孔5、5'に貫通して係止される鉤3a、3a'が突設してあり、先端には斜面3b、3b'が設けてある。そして、この斜面3b、3b'の背面には平面部3c、3c'が設けられている。

これを組立てるには、先ずプラグ本体４に設けた端子孔６，６′に、セツト側の端子板７に設けたピン８，８′を差し込み固定した後、コード９をキヤビネット１に設けた取付孔２から引出し、プラグ本体４の後端部を取付孔２から外部へ突出させる。プラグ本体４のフランジ１０，１０′に設けた孔５，５′と、前記突起３，３′との位置はほぼ一致させてあり、且つ突起３，３′の先端に斜面３ｂ，３ｂ′及び該斜面の背面には３ｃ，３ｃ′が設けてあるので、その際、平面部３ｃ，３ｃ′が左右移動のストツパとなりながら突起３，３′が孔５，５′内に導入される。突起３，３′は斜面３ｂ，３ｂ′に続く鉤３ａ，３ａ′が孔５，５′の縁で押されることにより、自からの弾性に抗して左右に押抜けられ、鉤３ａ，３ａ′が孔５，５′を通過したところで復元する。したがつて、プラグ本体４は突起３，３′の鉤３ａ，３ａ′によりキヤビネット１に固定されて組立てが完了する。

セツトをギヤピネツト1から取り出す場合は、従来のもと同様にセツトを引出す。その際プラグ本体4は突起3, 3'の鉤3a, 3a'により拘束されているので、ピン8, 8'と端子孔6, 6'との嵌合が外れ、電気的な接続が断たれる。

3

4

突起3, 3'はキヤビネット1を板金で構成する場合には、取付孔2を明ける際、切起しにより構成できるし、プラスチックで構成する場合には、一体に成型するのがよい。

本考案は以上のように、端子板のピンが挿入される端子孔を穿つたプラグ本体の左右両側にフランジを設けると共に、該フランジに透孔を穿設し、一方、該フランジの透孔に係合すべくキヤビネットの内面に弾性を有する鉤付の突起を設けると共にプラグ本体の端子孔に接続されたコードが挿通されるよう該キヤビネットに孔を設け、上記透孔と鉤付の突起との係合により、プラグ本体をキヤビネットに、その内側から取付けられるようにしたものであるから、プラグ本体とキヤビネット内に装備するセツトとの結合を、プラグ本体の取付けに先立つて行うことができ、従来のもののようにこれを手探りで行う必要がなくなり、作業が容易になる。そしてセツトと結合された後のプラグ

本体のキヤビネットへの取付に際しては、鉤付突起をプラグ本体のフランジに穿設した透孔に挿入するだけで、該鉤付突起により左右方向の動きを規制されながら、それは所定位置に挿入され、かつ、その位置合せは、プラグ本体の後端部を取付孔から露出させる際に自然に行われるので、特に考慮する必要がない。

⑩実用新案登録請求の範囲

端子板のピンが挿入される端子孔を穿つたプラグ本体の左右両側にフランジを設けると共に、該フランジに透孔を穿設し、一方、該フランジの透孔に係合すべくキヤビネットの内面に弾性を有する鉤付の突起を設けると共にプラグ本体の端子孔に接続されたコードが挿入されるよう該キヤビネットに孔を設け、上記透孔と鉤付の突起との係合により、プラグ本体をキヤビネットに、その内側から取付けられるようにしたインターロックプラグ。

